

「望ましい富士登山の実現のための指標・水準」 実績値

望ましい富士登山の在り方		指 標	登 山 口	実 績										水 準 (2024年までの 目標値)	見直しの 要否	水 準 (2025年以降の 目標値)案	これまでに実施した取組 (※調査方法)
視 点	区 分			第一期					第二期								
				2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024				
17世紀以来の登拝 に起源する登山の文 化的伝統の継承	頂上付近で御来光を拝む場合 には、途中の山小屋で宿泊・休 憩していること	伝統的な登拝の登山形態と同様に、山 小屋で休息してから山頂で御来光を拝 む登山者の割合	全 体	69.0%	68.2%	77.7%	82.0%	77.3%	-	80.9%	88.8%	87.6%	96.4%	80%以上	継続	80%以上	・山小屋で休息して山頂を目指す啓発を含む動画による広報 ・弾丸登山の自粛や山小屋休息の推奨 ・弾丸登山禁止のチラシ・ポスターを作成、外国人登山者にも呼掛け ・【山梨県】条例制定、【静岡県】事前登録システム導入 (※モニタリング調査アンケート)
	特定された山麓の巡礼路・登山 道からの登山が行われていること	古くからの巡礼路としてルートが特定さ れている吉田口登山道における山麓か らの登山者の割合	吉 田	11.9%	13.7%	12.4%	11.7%	9.3%	-	5.6%	7.5%	9.6%	11.8%	15%以上	継続	15%以上	・山麓からの登拝啓発を含む動画による広報 ・馬返からの伝統的な登山の神聖さをPR ・中の茶屋(休憩所)のおもてなしを周知 (※吉田口五合目登山者数カウント)
	山麓の神社・霊地等と登山道と のつながりが認知・理解されてい ること	山麓の神社や湖などを巡ったのちに富 士登山をする文化的伝統を知っている 登山者の割合	全 体	32.9%	39.0%	47.0%	38.6%	43.1%	-	41.9%	42.5%	38.6%	38.7%	50%以上	継続	50%以上	・山麓や五合目施設等での神社・湖を巡る伝統的な巡拝の啓 発を含む動画による広報 ・世界遺産巡りガイドマップ(日・英版)の配布 (※モニタリング調査アンケート)
		富士山に「神聖さ」を感じた登山者の 割合	全 体	83.0%	88.2%	85.9%	82.2%	83.2%	-	88.3%	86.6%	88.2%	88.8%	90%以上	継続	90%以上	・飲食・ゴミのマナー啓発 ・御庭、奥庭、御中道の散策ガイダンス促進 (※モニタリング調査アンケート)
登山道及び山頂付 近の良好な展望景 観の維持	山小屋・防災関連の施設等の登 山者のための施設が自然と調和 していること	自然と調和しない人工構造物による登 山道沿いの景観阻害	全 体	なし	なし	なし	なし	なし	-	なし	なし	なし	なし	非調和的要素が 予見又は発見され ない	継続	非調和的要素が 予見又は発見され ない	・登山道、下山道の巡視と維持管理 ・富士山レンジャー等による啓発活動の実施 (※文化財パトロール・レンジャーによる視認、文化財保護法 等の現状変更申請)
	浸食・植生等の変化による展望 景観への影響が抑制されている こと	五合目以上における登山道の浸食や 植生等の変化による展望景観の変化	全 体	なし	なし	なし	なし	なし	-	なし	なし	なし	なし	負の影響が予見又 は確認されない	継続	負の影響が予見又 は確認されない	・登下山道の巡視と維持管理 ・種子の防除マット設置 ・植生モニタリング調査 (※各登山口五合目から山体を観察)
登山の安全性・快適 性の確保	登山装備・登山マナー等が理解 されていること	登山道や山頂付近でゴミをよく見かけ た登山者の割合	全 体	—	26.8%	19.6%	19.3%	22.4%	-	17.6%	14.0%	29.0%	20.4%	15%以下	継続	15%以下	・Twitter等による呼掛け ・安全誘導員や富士山レンジャー等の巡視強化 ・売店・山小屋の協力による注意喚起 ・お盆等の混雑日における外国人へ周知 (※モニタリング調査アンケート)
		登山者のマナーに不満を感じた山 小屋等	全 体	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検討		・ 山小屋に対しR6年度からアンケートを実施
		人的要因による文化財き損届の件数	全 体	1件	0件	2件	0件	0件	-	0件	0件	0件	0件	0件	0件	継続	0件
	過剰な登山者数による混雑・危 険・不満を感じない登山ができる こと	吉田口から登山し、誤って須走口に下 山した人の割合(須走口五合目富士山 ナビゲーター対応実績)	吉 田 須 走	0.72%	0.48%	0.54%	0.92%	0.61%	-	0.49%	0.43%	0.54%	0.68%	0.4%以下	継続	0.4%以下	・下山道分岐点で誘導員配置 ・音声ガイドの継続 ・ガイダンス強化 (※須走口五合目ガイド対応者数)
				(981人)	(731人)	(928人)	(1,389人)	(936人)	-	(266人)	(404人)	(742人)	(780人)				
		山小屋やトイレなどの登山者への支援 施設に不満を感じた登山者の割合	全 体	—	19.1% (トイレ)	19.3% (トイレ)	21.9% (山小屋)	21.4% (トイレ)		10.0% (トイレ)	12.6% (山小屋)	13.9% (トイレ)	13.5% (トイレ)	15%以下	両方の数 値を指標 とし継続	15%以下	保全協力金を利用したトイレの改善 (※モニタリング調査アンケート)
夏山期間を通じて著しい混雑が発生する 登山者数/日*を超えた日数 *吉 田 口:4,000人/ 日 富士宮口 :2,000人/ 日	吉 田	4日	4日	5日	6日	6日	-	0日	0日	0日	0日	-	3日以下	継続	3日以下	・効果的な混雑回避啓発動画(30秒)の作成 ・混雑予想カレンダーの更新 ・カレンダーや動画のHP・SNS掲載による混雑日の日程変更促 進	
	富士宮	3日	2日	4日	—	3日	-	0日	0日	0日	0日	0日	2日以下	継続	2日以下	・【山梨県】条例制定 ※2018:富士宮口の8/14以降のデータが欠損。8/13までに 2,000人を超えた日はない。 (※八合目登山者数カウント、モニタリング調査アンケート)	